

情報処理科・経営管理科 3年A・B・C・D組

教科名	数学	科目(単位)	数学A(2単位)	選択相手科目	日本史A・服飾文化 電子商取引
授業形態	選択授業・分割授業・TT				
使用教科書	最新 数学A(数研出版) (前年度から継続使用)			副教材等	実用数学セミナー (浜島書店)

1 科目のねらい(目標)

整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。  
また事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用できるようにします。

2 科目の内容と授業の進め方

数学Aで到達すべき、整数の性質の内容について、教科書の例題で基本的な解法について身に付けてから、副教材で類題を多くこなすことで、習得を目指します。  
また、疑問に思うことは自分の納得するところまで、最後まであきらめずに取り組んでいくという姿勢を大切にしています。授業の進度もそれに合わせて、柔軟に進めていきます。

3 学習の方法

- ・ 絶えず世の中の自然現象や社会現象に疑問を持って生活してみましょう。「なぜ、雨は降るのか。なぜ、月は姿を変えるのか。なぜ、石油の値段が上がるのか・・・」これらの事象には全て理由があります。その理由を探ってみようとする気持ちが大切です。数学はそんなとき大いに役立ちます。
- ・ 他人の考えは大切にしましょう。人の話の中に思わぬ発見があります。だから仲間と学習するのです。特に数学は答えを出すまでの筋道が大切です。日頃から人の話に耳を傾けましょう。
- ・ 具体的な学習方法ですが、まずは授業を大切にしてください。流れに沿った継続的な学習はとても効果的なものです。授業はその流れの源になります。授業→復習→予習→授業の流れが身につけば、それが大きな実力につながっていくはずです。
- ・ 特に確率や図形の学習は実生活に応用が利くものばかりです。日ごろ生活する上で、数学の学習がいろいろな所に役立っていることを学びましょう。

4 課題・補習について

- ・ 課題はありませんが、定期考査は実施します。(年4回)
- ・ ノート点検は、考査直前に行います。(年4回)

情報処理科・経営管理科 3年 A・B・C・D組

教科名	数学	科目(単位)	数学A(2単位)	選択相手科目	日本史A 服飾文化 電子商取引
-----	----	--------	----------	--------	-----------------------

5 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 1. 約数と倍数 2. 倍数の判定法	約数、倍数	授業態度  ノート提出 前期中間考査
5	3. 素因数分解 4. 最大公約数と最小公倍数	素数 素因数分解 最大公約数と最小公倍数	
6	5. 割り算における商と余り 6. 余りによる整数の分類	割り算における商と余り 余りによる整数の分類	
7	課題学習	完全数 虫食い算	授業態度
9	第2節 ユークリッドの互除法 7. ユークリッドの互助法 8. 1次不定方程式	ユークリッドの互除法 不定方程式	ノート提出 前期期末考査
10	8. 1次不定方程式		授業態度
11	第3節 整数の性質の活用 9. 有理数の小数表現	分数を小数、小数を分数で表す	ノート提出 後期中間考査
12	10. n進法 課題研究	10進法、2進法 正五角形と黄金比	授業態度
1	課題研究	九去法	ノート提出 学年末考査
2			